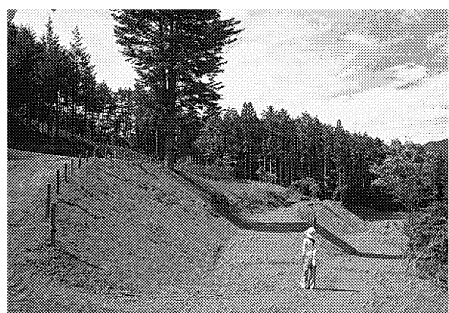


# 富士山で酪農体験提供

## 小屋や池造り 来月、参加型の牧場開業

鉄骨工事県内大手で経営破綻した小山田木鋼所（山梨県富士吉田市、現かえで）の再建を手掛けた経営コンサルタントの藤田太一氏が八月、富士吉田市で観光客に酪農体験を提供する「ふじさん牧場」を開業する。山梨県の支援を受けた起業。来場者が場内の小屋や池造りに携わる参加型の牧場にする。



富士山のふもとに1万平方メートルを賃借し、森林を伐採して牧草となる草花の種をまいた

藤田氏は米経営コンサルティンク会社のマッキンゼー・アンド・カンパニー出身。二〇〇三年に取締役として招請された小山田木鋼所の再建にめがをつけた。月内に農業生産法人を設立して牧場を始める。牧場長には妻の珠里氏が就く。藤田夫妻は富士山のふもとの傾斜地約一万平方メートル、約十平方メートルの小屋を建

て調理場とする。乳搾りした牛乳でつくったソフトクリームや周辺農家の有機野菜を使ったランチなどを来場者に販売する。入場料に加えて飲食代と乳搾りなどの体験料で収益を得る。週末に富士山観光にきた家族連れなど年三万人を集客し、開業二年目の売り上げ目標は六千万円とする。山梨県は耕作放棄地の活用や担い手不足の解消を目的に「放牧研究会」を設置しており、家畜の仕入れや管理方法で支援する。同会事務局の山梨県東部家畜保健衛生所は「適切な指導があれば素人でもできるというモデルケースにしたい」とい

藤田夫妻に酪農体験は「素人が手作りで始める牧場」。観光客には「小屋を建てよう」「池を造ろう」といった牧場を作り上げる体験を売り物にする。

同時に特定非営利活動法人（NPO法人）「地球のめぐみ」を設立し、食料問題への援助や認識を高める活動をする予定だ。平日に周辺地域の小学校などから遠足などを受け入れ、地域社会への貢献をめざす。

2008年7月9日  
日本経済新聞朝刊